



大井町議会だより 2022.5.1 No.211

ひ た よ ろ う た ん

第1回定例会	2
3月2日から16日までの15日間 令和4年度予算を議決	
第1回臨時会・第2回臨時会	8
一般質問 ここが聞きたい(9人)	10
委員会活動報告	15
町のこの人あの人	16

大井町に移住して新規就農

地域みなさんに喜んで

もらえるトマトを!

ないとう ひかる
内藤 光 さん



雨にも負けず「ヤイトーサッセ」(熊野社)

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

ゼロカーボンシティ実現に向け ～ 防災備蓄倉庫に太陽光発電設備を設置 ～

令和4年度 当初予算

一般会計	61億1,000万円
国民保険特別会計	14億9,000万円
後期高齢者医療特別会計	2億6,000万円
介護保険特別会計	12億9,000万円
水道事業会計	6億6,600万円
公共下水道事業会計	7億200万円
合計	105億1,800万円

第1回定例会

令和4年第1回定例会は3月2日から16日までの15日間を会期として開催され、条例や人事案件をはじめ、一般会計、特別会計及び企業会計の補正予算や令和4年度当初予算を審議した。

初日は、町長から施政方針が示され、予算編成の考え方と事業の概要が述べられた。また、2日間にわたり行財政全般に及ぶ一般質問を9人が行い、町の考えを質した。



上：生涯学習センター舞台吊物設備改修工事 9,062万9千円
下：道水路改良工事（6路線）1億5,809万円
（写真は町道18号線 根岸下）



令和4年度のまちづくり事業

議会では、2月25日（金）に新年度に予定されている工事箇所の内、6件の現地視察を実施し、町担当者から説明を受けた。



上：町宮河原住宅屋根改修工事（A棟・B棟）1,294万9千円
下：第2浄水場動力盤更新工事 1億246万5千円



予算審査ダイジェスト

施政方針



問 地場産マルシエはどのようなものを考えているか。

答 若手農業者が自主的に取り組めるようにしていく。町内で活動を展開している各種団体と連携するなど協働の仕組みづくりをしていきたい。

問 防災計画の改定内容は。

答 災害対策基本法の改定、町ハザードマップ見直し、南海トラフ地震や富士山の噴火等の想定などとの整合を図っていく。

問 相和小学校は児童が減少していく中、大規模改修を行う必要性は。

答 広域避難場所になっており、しっかりとしたので存続させたい。

問 ゼロカーボンシテイの実現に向けて具体的な取り組みは。

答 まずはゼロカーボンに向けた取り組みに関して基礎情報の収集調査を行っていく。

問 地域活動スタートアップ助成金の交付の内容は。

答 フードパントリー事業を行う団体に対し、倉庫代、燃料費、印刷代として補助する。

一般会計



歳入

問 財政調整基金積立金の利息が増額した理由は。

答 SDGsの推進と利子が良いためグリーンボンド債券を購入した。

問 そうわ会館電気料について自動車急速充電器の電気代を利用者負担にすることは。

答 今後、徴収できるか検討している。

問 軽自動車税環境性能割の積算根拠は。

答 コロナの影響で生産が落ち込んでいるが、予算編成時には伸びると見込んだ。

問 町民税個人分の滞納繰越を減額した理由と今後の徴収対策は。

答 過去の実績により減額した。今後も徴収努力をしている。

歳出

問 例規整備支援業務とは。

答 令和5年4月1日より施行される個人情報保護法及び地方公務員定年延長に伴う法改正の条例整備の対応をするもの。

問 民間保育所整備費補助金について、一般財源の額と建て替え時期は。

答 2133万5千円で、令和4年夏に着工し年度内に完成予定である。

問 工事完了後の定員の増員数、また、待機児童の解消は。

答 定員は、19名増である。認定こども園の新設を考慮すると待機児童は0人になる見込みである。

問 妊婦・子育てタクシー利用費助成金の内容は。

答 妊娠から産後までで利用回数制限はないが上限は1万円である。支払方法は償還払いを予定している。

問 巡回バス運行業務委託料の内容について。

答 富士急湘南バスに委託し、従来の路線系統は休止とし、巡回バス(ゆめバス)の路線系統にルートを変更し運行してもらう。

問 西大井に替わるお試し住宅の場所は。

答 赤田地区で調整している、国の補助金等を活用し改修してから契約する。

問 防災備蓄倉庫太陽光発電設備設置工事における現状は。

答 車両の充電に活用予定である。

問 カーシェアリングは検討しなかったのか。

答 今は考えていないが、今後検討していきたい。



新設された防災備蓄倉庫

地域で行われた
ペタンク交流大会

問 大井町ねりんピ
ック実行委員会補助金
の内容は。

答 のぼり旗・看板・
役員の旅費等管理運営
に係わる費用である。

問 フェイジョア等販
売促進事業関係費につ
いての内訳は。

答 商品開発として40
万円、キャンペーン・
パンフレット等で62万
円である。

問 商品開発40万円の
内容は。

答 大井スイーツセレ
クシオンへの働きかけ
により1事業者10万円
の4事業者である。

問 全国で約700自
治体が導入している。
導入自治体は微増では
あるが受診率が上昇し
ている。

問 特定健康診査健診
費の算定根拠は。

答 受診率30%、80
0人分を見込んでいます。

問 県への納付金と県
からの医療費の割合は
決まっているか。

答 町は県に納付して
おり、県は国から交付
金を受けている。決ま
った割合はない。

問 令和3年度末の滞
納額は。

答 令和3年度末で約
7000万円を見込んで
いる。

問 キャッシュレス化
の検討はあるか。

答 近隣市町での導入
を行い微増であるが徴
収率が増えている。本
町でも検討している。

後期高齢者医療

問 普通徴収者で滞納
者はいるのか。

答 12名33万5200
円が滞納額である。

問 負担割合が増額に
なるが、さらに滞納者
が増えるのでは。

答 遅れても支払って
いただいているので、
現状では国保のように
短期証での対応は考え
ていない。

問 後期高齢者医療保
険料が令和3年度と新
年度を比べると143

問 今年の10月1日か
ら2割負担の方も発生
するが比率は。

答 現状1割負担が65
21%、2割負担が26
45%、3割負担が8
31%である。

問 2万4千円の増額の理
由は。

問 被保険者数が増え
ているためである。

問 大井町の対象者は
何名か。

答 2597人で前年
度より124人の増で
ある。

令和4年4月1日から

PayPay LINE Pay p.b. au PAY ファミペイ

町税などのキャッシュレス 決済が変わります

新しい「生活様式」を促進し、非接触での納税を促進するために「PayPay」をはじめとするキャッシュレス決済を利用し、町税などの納付ができるようになりました。

※手数料は必ずお支払いください。納税は自己負担となります。

■ 利用できるスマートフォン決済アプリ

- PayPay
- LINE Pay
- Payb
- au PAY
- ファミペイ

■ 利用できる納付方法

- ① 生活様式（生活費）の支払い、納付額が30万円以下でバーコード
- ② LINE Payでの水道料金・下水道使用料納付は99,999円までです。
- ③ 車・バイク・バイクの納付は、利用期間が過ぎると利用できなくなります。

■ 利用方法

- ① 各アプリの操作方法や登録方法、チャージ方法などの詳細については、各アプリのホームページをご覧ください。
- ② 画面ではPayPayとLINE Payの操作方法のみ記載しています。

※ 納税期限に間に合いません。令和4年4月1日より納税期限が延長され、4月15日まで納税が完了します。

納付にあたっての注意事項

- ◆ 領収書は発行されません。領収書・証明書の必要方は、金融機関やコンビニエンスストア、納税設置店、役務会社等に発行してください。
- ◆ 車検など納税証明書の発行をお希望の方は、キャッシュレス決済以外の納付方法を利用してください。
- ◆ 町税・町民税・国民健康保険料・生活環境課の納付は、納税期限に間に合いません。お支払いの期限は必ず守ってください。
- ◆ 納付の期限については、各アプリの支払期限を確認してください。
- ◆ キャッシュレス決済で納付した場合は、お支払いの期限に間に合いません。二重納付に気を付けてください。
- ◆ 一度納付が完了した決済は、取り消しできません。
- ◆ 問い合わせ先
- 町税課（町民税・国民健康保険料） 046-266-0001 ■ 生活環境課（下水道使用料） 046-266-0011

キャッシュレス化始まる

第1回 定例会

介護保険

問 緊急通報装置賃借料の減額理由は。

答 25台から20台にする。見守り機器補助も併用していく。

問 オレンジライトアップは具体的に何をするのか。

答 認知症の普及活動の一環で保健福祉センターをオレンジ色にライトアップして普及活動に努めていく。

問 一般会計繰入金で介護給付費繰入金の算定根拠は。

答 給付費の想定は12.5%が繰入金であり法定で定められている。

問 地域密着型介護サービス等給付費のなかでこのサービスを受けられる事業所は町内に何事業所あるのか。

答 居宅支援を含め、町指定は11事業所であ



福祉課内に設置されている
地域包括支援センター

る。

問 地域包括支援センターを民間事業者に委託する考えはあるか。

答 直営の良さを活かして今後も運営していきたい。

水道事業

問 貸借対照表では令和3年度経費回収率が102%になる。これをふまえ800万円の繰入金があるが、どのくらいが健全か。

答 しばらくは繰入を

行うがいずれはなくなるように努めたい。

問 漏水修理費は例年同額だが、漏水調査の結果を加味しているか。

答 漏水箇所は想定しづらく年によって異なり、工事箇所によっても工事費が変わってくるため、例年どおり計上とした。

問 送配水管布設工事の増額は。

答 都市計画道路町道9号線の送配水管の新設によるものである。

問 水質等検査委託費の内容は。

答 浄水、原水によって検査項目が変わる。毎月やるものと3か月に1回やるもの等があり、検査項目によって回数も異なる。

問 水道料金に福祉減免制度を導入すべきでは。

答 制度の考え方は福祉施策のため、その観点から取組むべきである。

問 経営戦略では令和4年に料金改定となっているが。

答 料金の検討は5年ごと。経営は安定しており、すぐに改定は考えていない。

公共下水道事業

問 経費回収率が低いのが予定通り進んでいるのか。

答 営業収支比率は大きな変動はないが営業利益が大きく落ち込んでいる。原因は使用料が少ないので使用料を上げていく必要がある。

問 令和6年度には料金改定を考えている。

問 令和6年度に8.5%の料金の改定を考

えているようだが上げることによって補うことが可能なのか。

答 令和6年度ですべて補うのは難しい。5年ごとに改定を考え、営業利益を増額していく。

問 営業収支比率から見て値上げしても足りないのではないかと。

答 厳しい状況は続いていくが経営戦略を見込んで経費回収率を85%目標に取組む。

予算審査特別委員会

令和4年度予算審査にあたっては、本会議の審議において、動議により特別委員会が設置され、企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され、3月11日・14日の2日間にわたり詳細な審査を行った。



委員長	清水 亜樹
副委員長	鈴木 磯美
委員	牧野 一仁
委員	田村 俊二
委員	田中 正彦
委員	鈴木 武夫
委員	岡田 幸二
委員	和田 紀昭

令和4年度 一般会計予算 討論

2人の議員が賛成の立場から意見表明を行った。

ポストコロナ社会を見据え

新しい町作りがうかがえる予算

賛成討論 田中 正彦

令和4年、生活者は長いコロナ禍での閉塞感とウクライナ問題に伴うライフライン価格の高騰など社会不安と生活不安の下でのスタートとなった。

一方で暗いニュースばかりでなく、我が町にとっては明るいニュースもある。町の大型プロジェクトであった大井中央公園事業が完了し、ようやくこの春開園の運びとなった。

令和4年度の一般会計予算は61億1千万円、対前年度比102.3%、額にして1億4000万円の増額規模となっている。

大井町第6次総合計画にある4つの戦略事業及び施策別事業を点検してみると、例えば、交通弱者救済施策としての公共交通事業、待機児童対策、母子保健事業、消防団員処遇改善事業など21もの新規事業が計画されている。一方で、既存事業の見直しとして、例えば、地域防災計画の見直しやゼロカーボンシティ実現にむけて地域再生エネルギー導入検討など、ポストコロナ社会を見据え、新しい大井町作りがうかがえる予算案となっており、この姿勢を評価し、賛成討論とする。

「大井町気候非常事態宣言」の

取組みなどに期待

賛成討論 田村 俊二

令和4年度一般会計予算額は、歳入、歳出それぞれ61億1000万円、前年度比、1億4000万円増、率にして2.3%増となる予算編成となっている。

歳入は、町民税はコロナ禍影響下での前年度実績、各種交付金などは、歳入実績から慎重に精査した結果による堅実なものとなっている。

歳出では、児童コミュニケーションクラブの土曜日開所、妊婦・子育てタクシー利用助成、待機児童解消に向けた認定こども園開設補助、グループホーム開設補助など、子育て・教育、高齢者環境の充実を図る町の施策に共感するものである。

また、地場産マルシェの仕組みづくり、農業体験施設「四季の里」の指定管理者制度の導入は、地域の活性化と雇用の創出を目指す取り組みと考える。

本定例会で、町と議会は、町長と議会議長名で「大井町気候非常事態宣言」を行った。防災備蓄倉庫太陽光発電設備設置などは、2050年「ゼロカーボンシティの実現」に向けた取組みとしてこれらを高く評価する。

第6次総合計画「つなごう！大井未来計画」の着実な推進、SDGs達成に鋭意取組むことを強く期待し、賛成討論とする。

宣言

大井町気候非常事態宣言について（賛成全員）

＊気候が危機的な状況にあることを大井町と大井町議会が共同で宣言することで、気候変動に対する危機意識を町民や事業者などあらゆる主体と共有し、ともに地球温暖化対策の積極的な取り組みを推進するため宣言をするもの。

条例

大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について（賛成全員）

議会では、12月に開催された第4回定例会において「気候非常事態宣言に関する決議」を議決した。

町では、本定例会において、議会と共同で宣言を行うため議案を提出し、3月4日に可決され、本会議終了後町長と議会議長の連名で「大井町気候非常事態宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざすことを表明した。

＊未就学児に係る国民健康保険税の被保険者均等割額を減額する等の改正及び令和3年度から実施している世帯別平等割の課税の特例を延長するもの



調印式

問 未就学児均等割額減額の財源はどのような形か。

答 負担割合で国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1となる。

問 国と県及び一般財源からの補助額は。

答 90万円弱で試算している。

問 平等割額減免に対する基金の取り崩しの金額は。

答 約2300万円を予定している。

大井町児童コミュニティクラブ条例の一部を改正する条例について（賛成6・反対5）

＊大井町児童コミュニティクラブの保育料を改定するもの。

問 料金を値上げした理由は。



料金が改定された児童コミュニティクラブ

答 土曜開所にあたり人件費等の経費が増大する。

問 今回の料金改定はなにを基準にしたのか。

答 近隣自治体の料金を参考にした。

問 土曜開所は賛成だが、土曜日利用しない利用者の値上げをどう考えるのか。

答 土曜開所の実績のある近隣を参考にしながら年間一律で料金を設定している。土曜利用しない方は確かに値上

げになるが理解いただきたい。

問 値上げをせずに土曜開所できなかったのか。

答 受益者負担の考え方で値上げした。現在よりも利便性が向上することで理解いただきたい。

問 コロナ禍で物価も高くなる現在、値上げは子育て世代に大きな負担となると考えるが、2年間は緩和措置で対応していく。

大井町消防団条例の一部を改正する条例について
(賛成全員)

※消防庁において「非常勤消防団員の報酬等の基準」が定められたことに従い、出勤報酬を創設するもの。

問 皮手袋、防寒具、作業靴等は消防団で負担している。対応は。

答 分団への交付金を増額して消防団の負担を軽減したい。

問 団員への報酬の支払い方法が変更になるが、混乱が起きないように各分団と協議できているのか。

答 正副団長会議などの場で分団の運営方法を提案し、混乱しないよう対応したい。

問 時間の管理はどのようにするのか。

答 現在細かいところを調整中である。

補正予算

一般会計

(第10号)(賛成全員)

問 地方消費税交付金は社会保障に充てられるが、増額分も充当されるのか。

答 2億800万円余を充てる。

問 普通地方交付税の増額理由は。

答 国の増額補正により再査定の結果増額となった。

問 相和小学校のバリアフリー化する箇所は。



改修が予定されている
相和小学校

答 体育館とのつなぎ、エレベーターの設置、車いす用のトイレを1階に新設する。

問 バリアフリー化に関する補助率は。

答 通常、バリアフリー化は3分の1であるが、エレベーターについては2分の1である。

問 会計年度任用職員

の減額理由は。

答 当初予算では、幼稚園のクラス編成等を勘案し人数を見込んでいたがそこまで必要なかった。コロナ禍の影響もある。

国民健康保険

(第3号)(賛成全員)

問 人間ドック助成金の当初予定人数と実績は。

答 80人を予定していたが、90人の実績があった。

介護保険

(第3号)(賛成全員)

問 地域密着型介護サービス等給付費が下がった理由は。

答 特定の事業者で29床整備されたが満床にならなかった。

問 地域密着型施設の他市町村からの受け入れは。

答 基本的には大井町民を優先させるが他市町村の受け入れも対応する。

人事

大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること
(賛成全員)

※任期満了に伴い後任を選任するもの。

瀬戸 浩一 氏
(再任 上山田)

第1回臨時会

1月19日に開催され、補正予算の審議を行った。

一般会計補正予算

(第9号)(賛成全員)

※住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金に係る経費を計上するもの。

問 住民税均等割非課税世帯以外の方で給付

の対象となる方は。また、その対象者への周知の方法は。

答 住民税均等割非課税世帯の他に、新型コロナウイルス感染症により家計が急変した世帯に対しても給付する。

令和3年1月から令和4年の9月までの期間中、月の収入もしくは所得が非課税相当となった場合である。周知方法としては、ホームページ、町広報等で行っていく。

問 コールセンターのような相談窓口は設置されるのか。

答 福祉課内に専用のコールセンターを設置し、相談を受けたい。

第2回臨時会

2月24日に開催され、工事請負契約の変更について(町道改良工事町道501号線)を審議し、賛成全員で可決した。

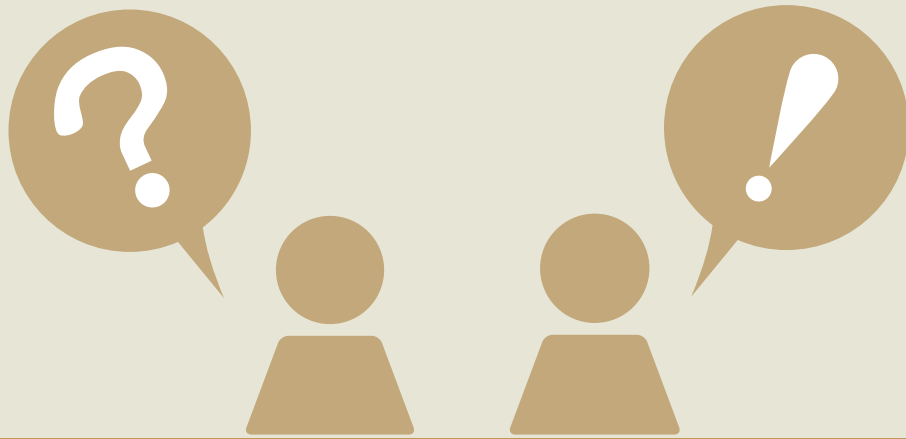
第1回臨時会・第2回臨時会

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は欠席した議員
清水豊司議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案 番号	議 案 名 議員名（議席順） と審議結果	大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 武夫	鈴木 磯美	田中 正彦	田村 俊二	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤 奈穂子	審議 結果
第1回 臨時会	1	令和3年度大井町一般会計補正予算（第9号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回 臨時会	2	工事請負契約の変更について （道路改良工事（町道501号線））	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第1回 定例会	3	大井町気候非常事態宣言について	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	4	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条 例について	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	5	大井町児童コミュニティクラブ条例の一部を改 正する条例について	欠	×	欠	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	可決
	6	大井町消防団条例の一部を改正する条例につ いて	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	7	大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改 正する条例について	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	8	大井町道の路線の認定について	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9	令和3年度大井町一般会計補正予算（第10号）	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	10	令和3年度大井町国民健康保険特別会計補正予 算（第3号）	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	11	令和3年度大井町後期高齢者医療特別会計補正 予算（第2号）	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12	令和3年度大井町介護保険特別会計補正予算 （第3号）	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13	令和3年度大井町水道事業会計補正予算（第3 号）	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14	令和3年度大井町公共下水道事業会計補正予算 （第2号）	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15	大井町固定資産評価審査委員会委員の選任につ いて同意を求めること	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16	令和4年度大井町一般会計予算	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	17	令和4年度大井町国民健康保険特別会計予算	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18	令和4年度大井町後期高齢者医療特別会計予算	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19	令和4年度大井町介護保険特別会計予算	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20	令和4年度大井町水道事業会計予算	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21	令和4年度大井町公共下水道事業会計予算	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	22	大井町課等設置条例の一部を改正する条例につ いて	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

ここが聞きたい 一般質問



小田町長は町政2期目を目指す考えは

答 現時点では、町民のため

持てる力を発揮する



清水 亜樹 議員

問 残任期間9か月ほ

どだが、町政2期目を

問 公約について、子

育てカフェレストラン

は飲食提供できるよう

問 遠距離通勤補助は

実施しないようだが、

人口誘導策としても、

いい施策だと思う。再

検討の考えは。

町長 この件は、働き

方の変わる中で、実現

できるように変えてい

きたいと思う。

問 障がい者の就労支

援については、新たな

取組みがないようだが、

今後取組んでいく考え

はあるのか。

町長 大変重要なこと

と思っている。どうい

った方策がいいのか、

事業者誘致なども含め

進めていきたい。

町長 現在、コロナ対

策と社会経済活動を両

立させ、活性化を図る

ことが第一である。現

時点では、町民のため

自分の持てる力を発揮

して、山積した課題に

取組んでいく。

町長 中央公園の休憩

所については、カフェ

レストランでなくても

お弁当を持ってきた食

べるぐらいのことは、

よいと思っている。

問 3年間の実績をど

のように捉えているの

か。

町長 職員共々全力で

施策を展開してきた。

一定の成果が得られた

と自負している。



おおい中央公園内休憩所

あしがら上地区資源循環型処理 施設整備の進捗状況は

答 建設候補地の地元の理解を
求めている

鈴木 磯美 議員



問 施設整備計画の進捗状況は。

町長 建設候補地の地元の理解を求めている。

問 老朽化する現施設に故障等が発生した場合の対応は。

町長 「廃棄物処理に関する緊急時相互援助協定」を締結しており、協定に基づき要請し対応する。



ごみ広域化が検討されている
大井美化センター
(足柄東部清掃組合)

【相和地区から通学する小中学生の移動手段は】

問 現在の路線バスの利用状況と今後は。

町長 朝の通常便は利用者があがるが、帰り便の利用者は少ない、今後についてもあまり変わらないものと予想される。

問 「特バス」の運行内容は。

町長 特別日課などの際に、定期便以外のバスを運行してもらっているが、生徒、保護者、学校、バス会社の視点の一致は難しい。

問 児童・生徒が減少するなか、今後の移動手段をどのように考えているか。

町長 おおいいゆめバスの利用状況を勘案し、効率的な手段を検討する。

【コロナ禍における町の対応は】

問 抗原検査キットが入手困難な状況だが、町の備蓄状況は。

町長 50人分を確保した。

問 濃厚接触者等により、多数の職員・教職員が出勤できない場合の人員確保は。

町長 業務継続手法について改めて点検・確認し対応する。

町のデジタル化戦略は

答 実現に向け、できることから
取組んでいく

岡田 幸二 議員



問 暮らし安全の推進に向け、デジタル技術を活用した高齢者見守りシステム、また各種会議でWEB会議システムを導入する考えは。

町長 人による見守りをサポートし負担軽減に繋がるデジタル技術の活用は有効であり、さらに推進していく。

また、行政でもWEB会議が主流になってきているが、参加者側の機器の準備やシステムへの理解も考慮し、場面に応じて適切な方法を選択していきたい。

問 学校教育でのAIドリルの導入、コロナ対策等でタブレットを持ち帰り、自宅学習で活用する考えは。

教育長 現在使用している「ドリルパーク」は漢字や途中式を記入するなど考えて問題を解くことにつなげられているが、今後は、

AIドリルの進化にあわせて、活用を検討していく。自宅学習については、家庭毎に個別対応で取組んでいる。

問 デジタル人材の活用及び育成に向け、「学びおおいサポーター制度」を活用し、教室を開いていく考えは。

町長 コロナ禍でインターネットを介した学習機会が増え、勉強したいという町民のニーズが高まっている。今後、人材の活用及び育成のために、行政主催の講座を開催したり、サポーターによる学びおおいサポーター講座を重ねることで対応していく。



パソコンを使用した
自宅学習（イメージ）

GIGAスクールの進捗状況は



答 本格的に使用をスタートし、様々な場面で活用につなげている

和田 紀昭 議員

問 オンライン授業の課題はまだあるのか。
課長 教員の準備、通信の問題で双方向での準備がまだ整っていない。
問 今後、実現に向けての施策をどのように考えているのか。
課長 普段から持ち帰

るという試みを現在している。順次日常の練習を含めて、もっと使いやすくしていく。
問 不登校の児童、生徒への支援の在り方について、自宅においてICT等を活用した学習を行った場合には、一定の条件のもと指導要録上、出席扱いとすることが可能であるとしている。この制度を利用して出席扱いにして、勉強を遅れないようにすることが、再度学校に通う時のハードルを下げることになると思うが取り組む考えはあるか。
教育長 タブレット端末が1人1台整備され



ICTを活用した授業

課長 令和4年度の予定として中学校は英語と道徳、小学校は英語と社会で現在検討している。
問 令和4年度もICT支援員に予算を組んでいるが、目的設定は、
課長 今までと同じような形で継続支援をしていた。

農的関係人口創出・拡大による活性化は

答 構築に向けて取り組んでいく

黒岩 陣太郎 議員



問 地域プロジェクト

への参画や農産物の購入など、都市部にいながら本町に関わることでできる仕組みづくりが必要と考えるが見解は。
課長 農業体験や交流体験事業により獲得した「交流人口」を農業の多様な担い手として、また農作物の購入者としてなど活性化に向けた取組に関わる「関係人口」へ着実につなげる仕組みづくりが重要だと考えている。

問 農業の担い手となる意向を持つ人が着実に就農できるようにするための方策は。
課長 本町独自の仕組みとして「夢おおいファーマー制度」を創設した。この制度は家庭菜園や定年後の生きがい、また、生活の一部

に「農」を取り入れるなど「農ある暮らし」を実現したい方のため1000平方メートル以内で農地を借り受け出来るようになった。また、ファーマーへの支援策として地域の農業生活者からのアドバイスも受けられる仕組みも構築していく。
問 新たな特産品の開発は。
課長 継続的に、フェイジョアを計画に位置づけているが出来れば地域の方が事業展開しているものをしっかり連携してプロモーションしていく必要があると考えている。



夢おおいファーマー制度

幼稚園・学校の今後の方向性は

答 引き続き協議していく

伊藤 奈穂子 議員



問 幼稚園・学校のあり方検討委員会での意見集約を受け町として今後の方向性は。

町長 今後、相和幼稚園、相和小学校に通う保護者を対象にアンケート調査を行い、保護者、地域の意向を把握していく。それらのアンケート調査結果を基に方向性を検討する。



町立3幼稚園の今後のあり方を考える

また、民間の認定こども園の開設や民間保育園の増設等の動向も踏まえ町立幼稚園についての検討も進めていきたい。

問 相和幼稚園、相和小学校の園児、児童数の今後の推移は。

町長 相和幼稚園は来年度、園児数10名の予定。そのうち相和地区外は3名。今後数年は10名程度で推移すると思われる。相和小学校は来年度、42名。そのうち相和地区外は12名の予定。今後も相和地区内の児童数は減少傾向で令和10年頃までは全児童30名程度を推移すると思われる。

問 今後の方向性を決める判断基準は。

教育長 教育委員会、保護者の意見も踏まえ引き続き協議を重ねていく。

問 小規模特認校として相和小学校の特色は。

教育長 少人数で細かい教育ができる。今後は相和地区外から通う児童の交通手段についても考えていきたい。

問 放課後教室の更なるPRは。

教育長 当然PRしていく。それも特色の1つと考えている。

小田町政の4年目の総評と町政運営は

答 「共創、協働によるまちづくり」を推進し、自治意識の高揚に努めてきた

田村 俊二 議員



【遊休農地（耕作放棄地）対策について】

問 「人・農地プラン」の進捗状況は。

町長 「人・農地プラン」実質化に向けた地域の話し合いは、遊休農地・荒廃農地対策を推

進する上で急務である。順次、継続的に進めていきたい。

問 地域の農道整備要望に対する考えは。

町長 農道整備により、地域集約の可能性が出てくるならば検討していくべきものと考えている。

【コロナ第6波大井町の現況について】

問 町民への公表のあり方は。

町長 今後、園、学校の臨時休校等の対応が生じる場合は、町ホームページで公表することを検討したい。



整備が求められている農道

問 自治会担当職員制度等の評価と成果は。

町長 自治会担当職員制度は機能していると受け止めているが、協働については町民意識の面で町がムードづくりをしていきたい。

問 産官学民の仕掛けづくりは。

町長 企業の組織、仕組みを活用し、協働のまちづくりをさらに推進していきたい。

相模金子駅南側の市場踏切の 全面改良は

答 計画はしていない

鈴木 武夫 議員



問 相模金子駅南側の市場踏切は改良工事が行われ踏切西側は道幅が広がった。踏切東側は現状のままで危ない状態である。踏切東側の改良工事を実施する計画は。

町長 現時点で踏切東側の改良計画はない。当面は通行車両に注意を促す対策を検討し、



道幅が広がった市場踏切西側

今後は効果的な対策を研究する。

問 町民が安心してトイレが使えるように、公共施設のトイレを全部洋式にする考えは。

町長 公共施設のトイレの洋式化率は、役場庁舎47%、生涯学習センター62%、総合体育館71%、保健福祉センター75%、そうわ会館80%でその他の施設は全てのトイレが洋式になっている。

今後は施設の利用状況やニーズを見極めてト

イレの整備を段階的に推進する。

問 役場庁舎南側駐車場のアスファルト舗装の整備は。また、駐車場の区画が狭いので広くする考えは。

町長 今後全面改修のタイミングで、区画線の拡張や車止めの位置の変更を考えている。

問 ペタンクを町内に普及させる計画は。

町長 ペタンクの教室や用具の貸出しをしている。町スポーツ協会に専門部の創設を計画している。

篠窪地区の高齢化比率は

答 65歳以上の人口は50・3%

牧野 一仁 議員



問 限界集落が危惧される篠窪地区の高齢者比率と空き家状況は。

町長 高齢化率は50・3%、空き家は6件存在している。

問 人が流出し過疎化が進む要因は。

町長 市街化調整区域に設定され、周囲は農用地が連なっており、住宅の新築、その譲渡について制限がかかっているため新規転入者を受け入れづらい。

問 企業誘致や移住、定住、空き家利用など検討をしたか。

町長 土地利用の制限が厳しい中、地域限定で企業誘致をすることは困難であるため神奈川県企業誘致促進協議会などを利用して、町全域で考える。また、「農ある暮らしの推進」の一環として相和地区でお試し住宅事業を進める。

【町長が掲げた協働の取り組み状況と評価について】

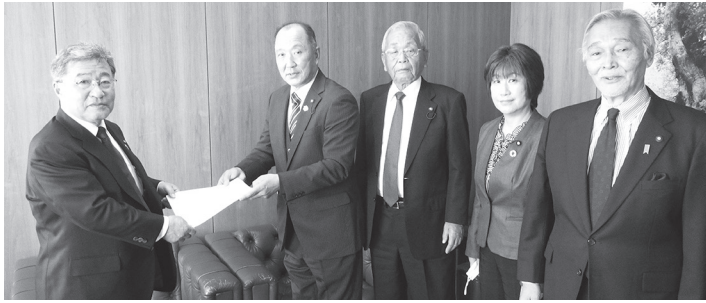
問 自治会の加入率の減少や役員のなり手不足など自治会存続の問題を抱えているが町の

見解は。

町長 自治会は自主防災組織としての役割があり、災害発生時における安否確認や救出、救助、避難誘導等の活動に支障が出ることを危惧している。広報誌や自治会活動ハンドブック、加入案内チラシなどにより啓発活動を行うとともに、自治会長等への助言など、引き続き地域コミュニティの維持などのサポートをしていく。



限界集落が危惧される篠窪地区



企画経済常任委員会 町長に政策提言書を提出

令和4年3月3日、第1回定例会会期中の本会議終了後に、企画経済常任委員長から町長へ政策提言書を提出した。

企画経済常任委員会では、今期、掲げたテーマの一つでもある「有害鳥獣被害対策に関すること」について調査

研究を行ってきた。町の担当課や関係団体との意見交換や町内のわな設置状況の現地視察などを行い、問題点や課題点を研究してきたが、町民が有害鳥獣の減少を実感でき、地域農業の活性化の一助となるよう提言を行った。

提言内容

町が鳥獣被害対策実施隊や関係機関との連携により有害鳥獣被害対策を行っていることを評価した上で、捕獲従事者の意見も踏まえ、次の5点を提言し対応を求める。

- (1) 広域における捕獲体制を確立すること
- (2) 官民連携による取り組みを推進すること
- (3) 捕獲後の個体処理方法を構築すること
- (4) ドローンやICT機器を活用すること
- (5) 集落環境整備に取り組むこと

大井町議会会業務継続計画（議会BCP）を策定

議長からの諮問を受け 議会運営委員会で検討・答申

議会運営委員会では、議長から「（仮称）大井町議会会業務継続計画の策定」について諮問を受けた。

委員会では、令和3年8月から令和4年2月まで5回にわたり検討を重ねてきた。

また、他の議員からも広く意見を募るため、議会全員協議会で検討内容等を報告し、意見聴取を行い、さらに委員会で検討を進め、令和4年3月16日に議長に答申した。



近年、各地で頻発する大規模な自然災害や大規模災害に匹敵する感染症の大流行などの非常事態においても、議会は二元代表制においての議決機関、住民代表機関として、迅速かつ正確な意思決定が必要であり、また、多様な町民ニーズに対応できる議会機能の維持を図る必要がある。

このことから、本町議会では、自然災害を始めとする大規模災害等の非常事態が発生したときに、迅速で適切な初動対応を始めとした災害対応等について必要な事項を定めることにより、議会機能の早期再構築とその維持を図ることを目的とした大井町議会会業務継続計画（議会BCP）を策定した。

● 町のこの人あの人 ●

大井町に移住して新規就農

地域の皆さんに喜んで
もらえるトマトを！



馬場地区
ないとう ひかる
内藤 光 さん

山梨県から移住し町体育館南側で、トマトの養液栽培に取り組む内藤光さんを紹介します。

●内藤さんは東京都で生まれ育ち、大学卒業後山梨県の農業生産法人で年間20種類の野菜を作っていました。一昨年の1月に大井町に移住されました。

●大井町に移住されたきっかけは、大井町出身の奥様と結婚後、独立就農を考えていたこともあり大井町に移住してきたとの事です。

●農業をやっていると思うたきっかけは、単純に体を動かして働くことが好きなこと。今思えば、他の業態に比べて自由度が高く栽培の方法から販売まで様々な選択肢が無数にあることが面白く魅力的だったそうです。

●大井町に移住してからは、トマトの栽培を学ぶため千葉県の農事組合法人で研修を受け、土地の借用やハウス建設など約1年をかけて準備をしてきたそうです。昨年8月に苗を植



ハウス内で作業している内藤さん

え現在に至っています。栽培法はヤシガラの培地に苗を付けし水に溶かした肥料を株元に与える方法で行っており、この水の調整が難しく、まだ失敗もあるそうです。現在、販路はハウス横の直売と農協の直売所また農協や市場に出荷しているそうです。また農業をしていると地域インフラに依存していると感じており、地域貢献として消防団への入団、商工会にも入会され現在ではコロナ禍で活動が減っていますが、継続して活動していきたいとのこと。

●事業拡大はと聞くと将来的には拡大したいと思いますが、先ずは今の300坪のハウスで質の良いトマトを作りたいです。また今後の、町が考えている地場産マルシェなどにも積極的に参加していきたいです。特に買ってくれるお客さんと顔を合わせると、感想などを聞きながら、皆さんに喜んでもらえるようなトマトを一生懸命作ってきたいと話されました。

【議会傍聴についてのお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、傍聴席は間隔を空けて使用するため、傍聴人数に限りがあります。また、次の注意事項にご協力ください。

- ・体調がすぐれない方、37.5度以上の熱がある方は、傍聴を控えてください。
- ・受付時には手指の消毒をし、マスクの着用にご協力ください。

第2回定例会開催 6月7日(火) 午前9時

問合せ先：議会事務局
☎ 85 - 5000 FAX 83 - 3936

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報広聴常任委員会 (広報分科会)
大石	黒岩	和田	山崎	鈴木	清水	伊藤	
舞	陣太郎	紀昭	真弘	磯美	亜樹	奈穂子	

編集後記

新年度を迎え、待望の「おおひ中央公園」が今月全面開園し、町民の皆さんの憩い、ふれあいの場となることに期待をしています。前号より録音ボランティアの協力のもとホームページから議会だよりの音声版を掲載し情報のバリエーションを進めています。現在、ロシアによるウクライナへの侵攻が続く、多くの尊い命が奪われています。一日も早くウクライナに平和が訪れることを願っています。

清水 亜樹